



地域とのふれ合いを大切に、手作りの夏まつり

特養老人ホームあかいしの郷で夏まつり

8月19日、特別養護老人ホームあかいしの郷（徳山）を会場に夏まつりが開催されました。

ふだん、あまり外に出ることがない施設利用者のみなさんと地域の方々がふれ合い、夏の風情を楽しんでもらうことを目的として開催されており、今年で5回目を迎えます。

当日は、あかいしの郷職員が「ちんどん屋」に扮して各部屋を練り歩き、祭りの雰囲気盛り上げます。5時30分頃から始まった祭りでは、オープニングを川根高校生「赤石太鼓」が飾り、その後、手作りのやぐらを囲んでの盆踊り大会です。

炭坑節や花笠音頭など、地域のみなさん、施設利用者のみなさんが一緒になって楽しみ盛り上がりました。



地区のみなさんとのふれあいを楽しみました

夕涼み気分で祝う県民の日

県民の日地域イベント「夕涼み・夏まつり」を開催

8月20日、中川根商工会が主催する「夕涼み・夏まつり」がフォーレなかかわね茶茗館を会場に開催されました。

約500人の来場者でにぎわったこの祭りでは、中川根友銭会による「銭太鼓」の披露や、元藤川を拠点に全国で活動している南アフリカ民族音楽グループ「ときわ」の演奏、川根茶の飲み比べ会などが行われました。また、キャラクターうちわのプレゼントも行われ、子どもたちの人気を集めていました。祭りの最後は、話楽座のメンバーによる「民話の語り」が聴衆を魅了、大きな声援が沸き起こるなど、にぎやかな夏のひとときを過ごしました。



聴衆を魅了した、話楽座による「民話の語り」

より良い「子育てカード」にするために

「子育て優待カード」の意見交換会を開催

現在、川根本町で実施している「子育て優待カード」事業。このカードを持参した親子に、割引などの特典が受けられる制度で、親子のふれあいを目的として現在実施されています。

事業開始から半年が経過し、このほど現状を把握するための意見交換会が行われました。（会場：山村開発センター）

会では、カード利用者、協賛店舗の事業主、県・町関係課職員など、21人が参加しました。

利用者からは「地元で割引が受けられるのは嬉しいこと」、「店に、分かりやすいポスターなどの掲示を」、「宿泊施設は町内では使わない」、「もっと丈夫なカードにして欲しい」などの意見が、店舗側からは「利用者はまだまだ少ない」、「店同士の競争の道具にならないよう配慮が必要」など、活発な意見が数多く出されました。

県・町担当課では、今回の意見を踏まえ「子育てカード事業」のより一層の充実を図っていききたい考えです。



熱心な意見が飛び交いました